

地域住民の憩いの場として－地域用水環境整備事業「一ノ谷池親水公園」－



一ノ谷池は観音寺市の北東部に位置しており、貯水量六十六万一千ト、灌漑面積三百十八町余りの規模であり、市内の中でも有数な貯水池として基幹的な役割を果たしています。

しかし、ため池の護岸は整備が行われておらず、波浪による浸食や雑木等により、人が立寄るには危険な状態であり、毎年六月の「池の宮神社」の祭には支障をきたしていました。

また、ため池の近傍には小学校があり、水生動植物の観察場所として、地域住民から親水公園整備の要望があり、観音寺市は平成十六年から地域用水環境整備事業として親水ゾーンの整備を行い、平成二十年三月に完成しました。

整備内容としては、ため池本来の機能を確保するため、貯水量は変えずに浚渫した土で用地を造成し、憩いの広場・しようぶ園・さくら広場及び駐車場の整備を行いました。また、その各ゾーンの連絡には散策道を整備することにより、ゆとりと安らぎのある場を住民に提供し、ビオトープを設置して水生植物等の観察場として整備しました。

今後は地域住民による管理を行い、都市近郊の親水公園として、住民の憩いの場、水辺空間の活用が期待されます。

(香川県西讃土地改良事務所)

